

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 仙台はげみの会 仙台市袋原たんぽぽホーム		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月19日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・丁寧な保護者支援ができること	・タイムリーな相談の体制づくり ・連絡ノートの活用や自由あそびでの丁寧な聞き取り ・保護者に向けた勉強会の充実	・経験の浅い職員も多いため、どの職員も保護者の主訴をくみ取り適切な助言ができるように研修等を充実させていく ・職員も研鑽しながら保護者対応にいかしていく
	・保護者と共にこどもの様子をタイムリーに確認し、一緒に対応を考えることができること	・日々の活動の中で振り返りの時間を設け、こどもの様子を前向きに捉えられるようにしている ・母子分離の時間を設け、客観的にこどもの様子を見る機会を作っている。その際職員が一緒にみることでの別の視点の気づきも伝えられるようにしている	・支援計画の内容に沿った支援が提供できるよう、職員間でも定期的に確認し保護者と共有していく
3	・近隣の保育所との交流を頻繁に行っている	・地域相談員と主任を中心にこまめに連絡を取り合っている。行事等にも招待し、在園児も一緒に遊ぶ機会を設けることで、保護者も自分の子の進路先を見据えることができている	・交流の内容を見直し、職員の支援も行っていくことでインクルージョンの推進を図っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・高度な専門性をもった発達支援・家族支援	・経験の浅い職員が多く、専門性を持った発達支援や保護者対応ができる職員が少ないこと	・研修を行うほか、日々の保育の中に児発管や主任が入り、対応や構造化などについて一緒に考えていく体制を作っていく
2	・危機管理に関する意識の向上	事後、職員間での確認や対策について話し合う機会は設けてきたが、事前の予防や起きてしまった時の対応が不十分なことがあった	・危機管理に関する研修を受け園内で共有する ・定期的に確認する機会を設け、意識の向上を図る ・非常時の対応について、職員間でも再度確認・徹底するとともに、保護者との共有も定期的に行っていく
3			